

## 7. 地球温暖化への取り組み

### 地球温暖化

地球温暖化とは、人間活動によって二酸化炭素など温室効果ガスの大気中濃度が増加することにより、地球表面の温度が上昇する現象です。

地球の平均気温は、過去100年間に約0.74度上昇しており、この気温上昇は、特に北半球の高緯度で大きく、また陸域は海域と比べてより早く温暖化しています。そして、2100年には世界平均気温が1.1～4.0度上昇し、世界平均海面水位は1993(平成5)年以降年3.1mm上昇していると予測されています。

地球温暖化を防止するためには、大気中の温室効果ガスを自然の生態系や人類に影響を及ぼさない水準で安定化させなければなりません。そのためには早期に現在の温室効果ガス排出量を半減以下にする必要があります。

### 美唄市での地球温暖化対策

美唄市では、自らの事務及び事業(庁舎におけるものに限らず、上下水道、公立学校、公立病院など、美唄市職員が直接実施するもの)に伴って排出される温室効果ガスの排出量の削減を行うため、削減目標を設定するとともに具体的な取組内容を定めた「美唄市地球温暖化対策実行計画」を策定し、平成24年度までに温室効果ガス総排出量を平成18年度比12.1%の削減を目指すとしています。

### 平成20年度の温室効果ガス排出量

美唄市の事務または事業を対象(他者に委託して行う事務又は事業は対象外)に実施。

平成20年度の温室効果ガス総排出量は6,055.9トン(二酸化炭素換算)であり、前年度(平成19年度)から940.8トン削減(13.4%)しています。

また、美唄市地球温暖化対策実行計画の基準年(平成18年度)から1,144.9トン削減(15.9%)しており、目標値(6,327.4トン、12.1%)を達成しています。

温室効果ガス排出量の年度別比較

